

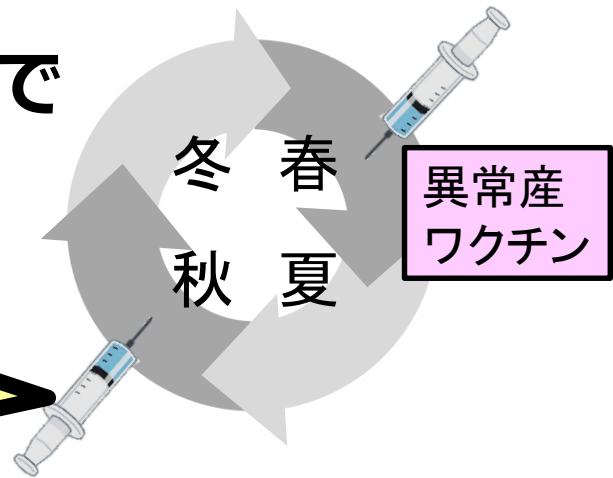
寒冷期の疾病対策を！

寒くなってくると、呼吸器病を含む疾病発生数が増加する傾向にあります。特に呼吸器病の罹患は、牛の発育に大きく影響しますので、秋から対策の準備をはじめましょう。

★母牛へのワクチン接種で牛群の免疫を維持

秋に接種

(冬季に感染拡大しやすい疾病)
呼吸器病混合ワクチン



※妊娠牛への生ワクチン接種は要注意！

妊娠牛への生ワクチンの接種は流死産の原因になる可能性があります。さらに、呼吸器病混合ワクチンに含まれるBVD(牛ウイルス性下痢)ウイルスは妊娠中の感染・生ワクチン接種によりPI牛(持続感染牛)を産出し、農場内に汚染を拡大する恐れがあります。

接種時には**獣医師と飼養者の双方**が**接種牛とワクチン**（妊娠牛には不活化ワクチン）をしっかりと確認して疾病の発生を予防しましょう。

★子牛は腹冷え防止対策を！

母牛からの移行抗体だけでは子牛の疾病は防ぎきれません。特に哺乳牛は産熱機能が未熟で冷えは大敵です。

- ・断熱マット等を活用して床冷え予防
- ・湿った敷料はこまめに交換してアンモニア対策
- ・ヒーターや毛布などで冷え予防

岐阜県中央家畜保健衛生所

電話番号：058-201-0530

時間外・夜間・休日は090-7024-5269

